

令和2年度 男女共同参画“川柳”表彰式



令和3年2月26日 内山さん宅にて

応募のありました47句の男女共同参画川柳のうち、委員会で最優秀作品を決め、内山 正さん(馬場6)が受賞し、市男女共同参画推進委員長から表彰状をお渡ししました。内山さんは「複数応募していたのですが、自分の中では一番意外な作品で賞をいただいたので、嬉しい反面驚きました。普段から考えることや書くことが好きなので、川柳やエッセイ等を創作することがよくあります。」と話され、男女共同参画の考えについて「私たちの世代よりも今の若い世代の方のほうがその考えを持っていると多くの場面で感じています。これからは性別によって差別されないことが当たり前の中になってほしいです。」と話されました。ありがとうございました。

編集後記

この1年を振り返り、昨年の未曾有の事態から、未だに続く日々の生活の様子を見ていると、子ども達にとっては窮屈な毎日が続いているように思う。大人にとっても、長期間に渡る心身の健康を保つための工夫の必要性を感じる機会が多かった。(この緊張感と、心身の疲れは産後2~3ヶ月の頃に感じたものに似ているな。)振り返りそう感じると共に、緊急下に心の健康を保つ根本にあったのは、近い方々や親族、幼少期に親しんだ作家さん達がこの状況下で発信してくださったメッセージや近況報告だった。眠い。明日の仕事も気になる。更にまだまだ家事は残っているけれど…。
 今晚もまた、「この絵本を読んで」と目をキラキラさせて持って来る目の前の子どもの「小さいお願い」を叶える事に必死な毎日を、今とても大切に感じている。 男女委員 R・I

「新型コロナウイルス」 家庭でできる感染対策POINT

- POINT 1 マスクの着用
- POINT 2 こまめな換気
- POINT 3 帰宅時のうがい・手洗い・消毒
- POINT 4 複数の食事での食器の共用を避ける
- POINT 5 毎日の検温・体調管理・行動履歴のメモ等

一刻も早く、新型コロナウイルスが沈静化すること望んで、ひとりひとりが感染対策を行っていきましょう!

男女委員 K・O

さくら市 男女共同参画推進委員募集中

私たちと一緒に市の男女共同参画に向けた活動をおこなってみませんか? イベントの企画や情報紙の発行など、誰もが住みやすく明るいさくら市を目指して楽しみながら活動していきましょう! 老若男女問いません。ぜひ、あなたの力を活かしてください!

問 総合政策課 ☎616-3557

◆編集: さくら市男女共同参画推進委員会 ◆発行: さくら市総合政策部総合政策課
 〒329-1311 さくら市氏家1857番地(市民活動支援センター内)

TEL: 028-616-3557 FAX: 028-615-7973 E-mail: sogoseisaku@city.tochigi-sakura.lg.jp

さくら市男女共同参画情報紙



市男女共同参画推進委員会 × SAKURA mama's KIRE



令和2年11月3日(火・祝)に氏家公民館ホールにてSAKURAmama's KIREさん主催のさくら市防災プロジェクト~子どもの命を守ろう~を受講しました。KIREさんはさくら市の特に女性・子どもに対しての防災・減災活動をしており、私たちが学ぶことが多くありました。

講師の「かもんまゆ」さんは、全国で「防災ママカフェ」を開催し、家族の命を災害から守る活動を行っています。今回の講座は、東日本大震災の被害を動画で再確認し、その時実際に被災したママさんたちの生の声を伝えるもので、改めて地震災害の恐ろしさを実感できる内容でした。これまで、命を失いかねないような災害を経験したことのない私たちは「今回も自分たちは大丈夫だろう」という「正常性バイアス※」が働き、身を守る行動に移れないといいます。根拠のない「大丈夫」に踊らされず、災害が起きた際に「自分はなにをすべきなのか」家庭内でしっかりと話し合い、迅速に行動できるようにしておかなければならないと思いました。

※正常性バイアス…自然災害や火事などに対して「自分は大丈夫」「今回は大丈夫」「まだ大丈夫」などと過小評価すること

その瞬間を生きのびるために

～さくら市防災プロジェクトに参加しての気持ち～

「地震は準備ができる災害」という講師かもんまゆさんの言葉に引き込まれ、自分の普段の行動を振り返りながら話に聞き入りました。ポイントは3つあります。

- ①「敵」を知る→地震・洪水・液状化現象など
 - ②「自分」を知る→家族の実力・情報収集手段
 - ③「準備」する→防災リュックの準備(家族の安心できるものを入れる・女性だと平均10kg)
- 「自分の命は自分で守る」頑張りましょう! H・O



東日本大震災や熊本地震からたくさんのお話を学びました。災害に対し、被害が大きいと想定外だったといえれば諦めがつきます。責任がなく気持ちが楽になるような錯覚なのか、自然や他人のせいにならなくなるような思いがあります。しかし、過去の経験から絶対安全などないのです。今元気に生きていることに感謝し、「行動するのは今」に視点を換えようと思いました。講座で学んだこと、そしてこれから学ぶことを教訓にこれからも学び続け、行動したいと思います。 Y・W

3.11の映像から入り、あの日あのことが蘇りました。電気が止まり、テレビは見られなかった。あんな大きな津波が起きていることが分かったのは少したってからでした。必ず来る「その時」のために「日用品のストックを1つ多く」これなら私でもできると思ったのを覚えています。震災から10年の今年、バレンタイン前夜、再び大きな地震が。長い停電と再びの寒い夜。あの時と違うことは、モバイルバッテリーや懐中電灯を準備していたこと。ガスと水道が無事なことを確認して、こたつの上に置いた明かりのもとに家族で集まりました。準備と知識が人を強くします。改めて意義のある講座だったと実感しました。 S・U



主催者からひとこと



SAKURA mama's KIRE

2019年台風19号、避難勧告に従い近くの避難所に向かったところ、そこはママが小さな子ども達を連れて安心して避難できる場所ではなかった…そんな経験をもとに万が一に備えてどうすれば良いのか、考えたい、学びたい!その思いから『さくら市防災プロジェクト～子どもの命を守ろう～』を開催いたしました。

みなさんは子どもを守れますか?ママ目線、女性視点の防災について、今後も考えていきたいです。



市男女共同参画推進委員会のこれから...

今年度、「女性の防災」をテーマにさまざまな活動をしてきました。避難所運営の責任者に女性の参画を推進していく、さまざまな立場の人に配慮した相談窓口の設置、避難所運営の役割を性別にとらわれず分担していく...たくさんのお話を学びました。この1年で学んだことを、さくら市全体の男女共同参画の実現に向けて、市の避難所マニュアルなどに男女共同参画の視点を入れ込んでもらえるよう、来年度に市へ提言書を提出したいと思っています。これからも「男だから」「女だから」という考えにとらわれず、社会のあらゆる分野で1人ひとりが平等に扱われ、活動に共に参画していけるさくら市にするために活動していきたいと思っています。

挑戦 さくら市男女共同参画川柳

～チャレンジ～

令和2年7月1日～令和3年1月15日まで募集していた男女共同参画「川柳」に、計47句の川柳の応募がありました。委員の中で最優秀賞を決定し、後日、市男女共同参画推進委員長から表彰状と、エコバック、除菌グッズをお渡ししました。たくさんのお応募ありがとうございました。

テーマ: ①新しい生活様式 ②家族 ③男女共同参画 ④防災



最優秀賞

② 内山 正(P・N 五里霧中)

主夫になり 帰る待つ身が 今わかる

- お父さん 何か作ってタごはん P・N かっさん ①
 ウイルスを 防ぐマスクも 衣替え P・N ヘラ鮎ジジイ ②
 パパとママ ステイホームで 家事をシェア P・N ヘラ鮎ジジイ ③
 密ですと 妻の会話も 遠隔に P・N ヘラ鮎ジジイ ①
 2メートル 先に歩くは 今の妻 P・N さっちゃん ②
 コロナ禍で 不要不急の エコ家計 P・N さっちゃん ②
 妻育児夫が仕事 もう古い P・N いぶた ③
 我が町の 愛着高まる テレワーク P・N はまちゃん ①
 暗くなる 前に出してね 避難指示 P・N さくら市の妖精 ④
 お願いだ 早めに出して 避難指示 P・N さくら市の妖精 ④
 声かけて みんなで避難 助け合い P・N さくら市の妖精 ④
 変身だ ゴミ出し料理 する夫(つま)に P・N さくら市の天使 ②
 ノラ犬も 何時か我が家の 顔となる P・N コロコロばあちゃん ②
 綻(ほころ)びを つぎつぎ夫婦 70年 P・N コロコロばあちゃん ②
 一張羅 土産片手に 千鳥足 P・N コロコロばあちゃん ②
 妻誉める 家庭明るく 食事美味 P・N しろやん ②
- 災害に 衣で知るは 悔やむ心 P・N しろやん ②
 味腕良し 経費が掛かり 赤字なり P・N しろやん ②
 年老いて 食事テーブル 快適なり P・N しろやん ②
 蕎麦打ちも 段どるごとに 腕上がる P・N しろやん ②
 家の中 接触回避 時差ご飯 P・N タロベエ ②
 災害は 起きて始めて 知るこわさ P・N タロベエ ④
 テレワーク 外出出来ず 妻こぼす P・N タロベエ ①
 エプロンを したまま夫 ウェブ会議 P・N ルツコラ ①
 スマホ見て 新米イクじい 努力中 P・N まご命 ②
 両輪の パパとママとの 家事車 P・N 夢追い人 ③
 巣ごもりも 絆深めて 家族の輪 P・N 夢追い人 ②
 主夫デビュー パパの料理は ワイルドだ P・N 夢追い人 ①
 避難場所 知って備える 防災用具 P・N 夢追い人 ④
 機嫌とり 私しません ご自分で P・N まさみ ③
 コロナ禍で 家族の絆 深めよう P・N 友心(ゆうしん) ②
- 仕事を退職して、15年ほどたちますが、家に一人いることが多くなり、仕事をしている妻の帰りを心待ちにしている自分がありました。妻にも同じような思いをさせていたのだと、自分が待つ側になり初めて分かりました。
- 女指示 性の縁故や YES克つ P・N 種 ③
 親は貸し 子は貰ったと思う金 P・N 五里霧中 ②
 世話をした 孫も今では便利なし P・N 五里霧中 ②
 災害は 待ち構えてる ぼくたちを P・N モカ ④
 備えてる? できる限りの 対策を P・N モカ ④
 災害は いつ起きるか わからない P・N モカ ④
 マスクして 減らそう コロナ 感染者 P・N モカ ①
 目指そうよ 家族のために 健康を P・N モカ ②
 男性も 女性も得意 活かそうよ P・N モカ ③
 経費減 妻がダメ出し WEB会議 P・N ワンダ ①
 参画で 丸くおさめる 家事・育児 P・N ワンダ ③
 コロナ禍を 逆手に取って 良い距離に P・N 山宗 雲水 ①
 二人とも 味は100点 子が笑う P・N フーマー ③
 家庭から 地域に根ざす 性差なし P・N 浜千鳥 ③
 サクラサク 多くの性が さくら市で P・N 土曜のうさぎ ③